様式第３号（第６条関係）

（がん治療実施医療機関において記載）

西伊豆町若年がん患者妊孕性温存治療費助成申請に関する証明書

以下のとおり、がん治療により生殖機能が低下する又は失う可能性があると診断された者に対し妊孕性温存治療（＊１）を実施することについて、説明し同意を得た上治療し、治療費を徴収したことを証明します。

　　　年　　　月　　　日

　　　　　　医療機関の名称

医療機関の所在地

がん治療主治医氏名　　　　　　　　　　　　　㊞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 妊孕性温存治療を受けた者 | ふりがな |  |
| 氏名 |  |
| 生年月日 |  |
| 基礎疾患 | 基礎疾患名(＊２)　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）基礎疾患の診断日　（　　　　　　　　年　　　　　　月　　　　　　日　　　）診断医療機関名　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 基礎疾患に対する治療 | 基礎疾患に対する治療のうち、生殖機能を損ねる可能性のある治療と開始（予定）日（いずれかの番号に○を付けてください。）　　　１　薬物療法２　放射線療法３　その他上記基礎疾患の治療開始（予定）日　（　　　　　年　　　　月　　　　日）実施医療機関名　　　　　　　　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 妊孕性温存治療実施（予定）医療機関名　　（　　　　　　　　　　　　　　　） |

　＊１　生殖機能が低下する又は失われる可能性のあるがん治療開始前に精子、卵子又は卵巣組織を採取し凍結保存するまでの一連の医療行為、又は卵子を採取し受精させ胚（受精卵）を凍結保存するまでの一連の医療行為のこと。

＊２　基礎疾患名の欄には、がんの診断名を記載してください。